

富士吉田市地域創生総合戦略

《検証事業：平成29年度地方創生交付金事業ほか》

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策1. 地域を担う基幹・基盤産業の振興			
具体的な施策	施策① ものづくり産業を核としたグローバルデザイナー拠点事業による地域ブランドづくりの推進			
事業の名称	ものづくり産業を核としたグローバルデザイナー拠点事業による新たな地域ブランドづくり事業			
事業概要	<p>富士吉田市は、周辺市町村とともに繊維産業が数多く残る日本有数の地域である。富士山から流れ出る豊富で清冽な水によって郡内織りと呼ばれる絹織物の産地として一時代を築いたが、OEMを中心とした下請の産地だったことから、廉価な輸入品の流通とともに取引も減少し、全盛期から大きく売上や賑わいが落ち込んでいる状況である。</p> <p>本事業は、現在も残る、優れた技術を有する地元織物事業者を中心に、世界的なデザイナーや海外市場とのコラボレーションにより、グローバルデザイナーの拠点となる地域づくりを進め、繊維産業を含むものづくり産業の振興と、新たな地域ブランドづくり、観光資源としての活用を図る。</p> <p>平成27年度は、本事業を進めていくための仕組みの構築のための調査と組織化等を含めた初期活動を進めて行くこととし、世界的に著名なスウェーデン・フランスのデザイナーとのチャンネル開発や、国内における多様なデザイン関係者（デザイナー、流通、大学・専門学校、他繊維産地等）とのチャンネル開発を行った。また、28年度は、流通を巻き込んだ商品開発に向けた調査研究を行うとともに、グローバルデザイナー（ものづくり）拠点の形成に必要な情報プラットフォームを制作した。</p>			
H27年度 取り組み実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 スウェーデン・フランスデザイナーとのチャンネル開発 2 国内関係者のチャンネル開発 3 海外・国内デザイナー・国内流通マッチング 4 事業マネジメント 5 事業費：11,431千円 			
H28年度 取り組み実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケットを巻き込んだ商品開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地元事業者による作業チームの編成・検討 ・流通事業者（ホテル・博物館・美術館・物販等）へのヒアリング・調整 ・ファクトリーショップのオープン ・市場反応調査 2 ものづくり拠点の形成に必要な情報プラットフォームの整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報プラットフォームの内容検討・設計 ・情報発信ホームページの作成 3 ものづくり拠点の形成に必要な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・事業マネジメント等 4 事業費：8,000千円（富士吉田市6,000千円、西桂町2,000千円） 			
H29年度 取り組み実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 国内流通や海外・国内デザイナー商品開発、プロモーション展開 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケットを巻き込んだ商品開発とプロモーションを行うとともに、新たなブランドに関する市場の反応の確認や可能性を検証した。 ・観光施設等との連携による商品開発 ・流通事業者及び国内海外デザイナー、他産地との調整 ・試作品の製作とプロモーション ・市場反応調査 2 グローバルデザイン拠点・システムの整備、情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・産地の事業所、製品、技術などのデータベースを制作し、平成28年度に制作したホームページと連動させた情報発信を行った。 ・データベース構築 ・データの収集・編集・入力 ・情報プラットフォームへの連動と発信力強化 3 ものづくり拠点の形成に必要な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究費 ・他産地との交流 ・事業マネジメント 4 事業費：10,000千円（富士吉田市7,500千円、西桂町2,500千円） 			
地方創生交付金名/交付額	<p>H27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） （上乗せ交付） 11,431千円</p> <p>H28年度 地方創生加速化交付金 8,000千円（富士吉田市6,000千円、西桂町2,000千円）</p> <p>H29年度 地方創生推進交付金 3,750千円</p>			
重要業績評価指標（KPI） ⇒H31目標値	海外デザイナーチャンネル開発 ⇒10人	国内チャンネル開発 ⇒国内デザイナー5人、大学・専門学校3校	今後の事業推進のための枠組み構築 ⇒1件	繊維織物に関わる工業製品出荷額等 68億円（H25）⇒10%増加 （参考値：年次別織物推定生産額 H25：6,598百万円 富士技術支援センター）
H27年度 実績（KPI）	6人	国内デザイナー3人、大学・専門学校5校	1件	- （参考値：7,020百万円）
H28年度 実績（KPI）	0人	ホテル6件、博物館・美術館3件、流通2件、食品2件	1件	- （参考値：7,307百万円）
H29年度 実績（KPI）	0人	国内デザイナー1人	1件	-
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価（今後）	繊維業界の活躍については、日頃から目に触れる機会も多くなったのではないかと。観光との結びつきが生まれるなど重要業績評価指数（KPI）には現れていない副次的な効果も生まれている。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	商工振興課、まちづくり戦略課			

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進		
政策	政策3. 雇用対策と産業基盤の整備		
具体的な施策	施策③ LLC(合同会社)設立を通じた市街地活性化プロジェクトの推進		
事業の名称	LLC(合同会社)設立を通じた中心市街地活性化プロジェクト事業		
事業概要	<p>本市の繊維産業は、戦後最盛期には、毎週市場が開かれ、中心市街地である西裏地区は、かつて居酒屋等の飲食店が集積し、市内外を問わず多くの顧客が通う飲食店街だった。その象徴の一つであった「新世界通り」は、繊維産業の衰退と共に、全ての店舗が廃業し、空き家となっている。</p> <p>一方、富士山の世界遺産登録により多くの外国人観光客が当地を訪れ、その受け入れ態勢の構築が課題となっている。今回の取組では、新世界通りの空き店舗を活用し、新たに屋台村通りとして再興することにより、若者の起業支援による雇用創出や定住促進、外国人観光客のための新たな観光拠点の構築を目指す。</p> <p>市民活動支援団体である「富士吉田みんなの貯金箱財団」がコーディネートする中で、域内・域外の若者の経営参画をもとにLLC(合同会社)を設立し、同財団の地域ネットワークを活用して空き店舗の活用と中心市街地の活性化を図ること、またそれに合わせて、人材育成と起業のサポート、移住・定住の促進等地方創生につながる政策をパッケージにして実施する枠組みを構築することは、これまでにない先駆性を有するものである。</p>		
H27年度 取り組み実績	<p>1 平成27年度は、LLCの設立、新規起業者の公募・教育、空き店舗の改装工事（躯体部分、給排水、ガス等）を実施し、屋台村通りのオープンに向け準備を整えた。</p> <p>①LLC設立を含む事業運営 （人件費・プロモーション費・空き店舗賃借料・施設管理費 等）</p> <p>②創業支援金 教育受講・創業支援</p> <p>③店舗改装【対象：3店舗】</p> <p>④事業コーディネート （事業推進のための枠組み検討・事業マネジメント）</p> <p>2 イベント ①新世界通り復活祭の実施（8月） ②プレオープン（28/2月）</p> <p>3 事業費：18,500千円</p>		
H28年度 取り組み実績	<p>1 平成28年度は、LLCの運営業務のほか、改装支援、テナンティング、イベント企画、プロモーション、施設管理、関係者との連絡調整など屋台村通り全体としての総合的な事業マネジメントを行った。</p> <p>①事業マネジメント等委託 ②LLC運営費等</p> <p>2 事業費：7,000千円</p>		
H29年度 取り組み実績	<p>1 平成29年度は、LLCの運営業務のほか、改装支援、テナンティング、イベント企画、プロモーション、施設管理、関係者との連絡調整など屋台村通り全体としての総合的な事業マネジメントを行った。</p> <p>①事業マネジメント等委託 ②LLC運営費等</p> <p>2 事業費：9,630千円</p>		
地方創生交付金名/交付額	<p>H27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） （上乗せ交付） 18,500千円</p> <p>H28年度 地方創生加速化交付金 7,000千円</p> <p>H29年度 地方創生推進交付金 4,816千円</p>		
重要業績評価指標（KPI） ⇒H31目標値	LLP（有限責任事業組合）の設立 ⇒平成27年度	新世界通り再生による新規 起業者数 ⇒8人	新世界通りの空き店舗の活 用数 ⇒8店舗
H27年度 実績（KPI）	LLC（合同会社）設立	3人	3店舗
H28年度 実績（KPI）	H27年度 設立済み	1人	1店舗
H29年度 実績（KPI）	H27年度 設立済み	1人	1店舗
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。		
評価（今後）	地方創生の中でも珍しい企画で、具体的な戦略（「新世界通り再生」）を持っている事業である。今後も積極的に事業を推進していただきたい。		
備考	まちづくり戦略課		

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進		
政策	政策3. 雇用対策と産業基盤の整備		
具体的な施策	施策② 産業人材の育成・確保と雇用の促進		
事業の名称	郷土愛醸成を核とした若者チャレンジプロジェクト		
事業概要	郷土を意識し、さらに郷土で自身の可能性を試す場を設定し、子どもたちが自分の地域で成功体験を積むことができるようなプログラムを通じて、郷土愛の醸成や、地元へのUターン等の回帰支援につなげることを目的とする。 具体的には、中・高校生の教育カリキュラムの総合学習等を通じて、地域で目標に向かって取り組んでいる企業などと向き合う機会を設けるなど、座学ばかりでなく生徒が主体的に考え、行動する実践的な学習プログラムを計画し、新しい学習指導要領に対応する「時間割に無い授業」を先駆的な取組みとして実施する。さらに、中・高校生の将来の職業選択のきっかけとして、上記の教育プログラムの提供に必要な学習拠点整備に携わるプログラムを実施する。		
H29年度 取り組み実績	市内の高校生を対象に、地域に根ざして活躍している産業への取材・職場体験・商品開発等を通じて、市内で“働く・暮らす”及び地域への興味関心の高い人材の育成を目的とした教育プログラムを実施した。 ①地域の魅力を伝えるWEBマガジン及びフリーペーパーの作成 ②キャリア教育を考える対話型ワークショップの開催 ③中・高校生向けの地域教育授業の実施		
地方創生交付金名/交付額	H29年度 地方創生推進交付金 2,251千円		
重要業績評価指標 (KPI) ⇒H31目標値	社会増減 ⇒ 0人		
H29年度 実績 (KPI)	-282人		
評価 (効果)	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。		
評価 (今後)	1年目の事業であり、すぐに結果が現れるような事業ではないため、今後の展開にも期待したい。今後も積極的に事業を推進していただきたい。		
備考	まちづくり戦略課		

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策4. 移住・定住の促進			
具体的な施策	施策③ 空き家の利活用の推進			
事業の名称	ふじよしだ定住促進センター運営事業			
事業概要	ふじよしだ定住促進センターを開設し、移住希望者への相談体制を整えるとともに、やまなし暮らし支援センターをはじめとする関係機関との連携を図り、富士吉田の魅力を積極的にPRし、移住・定住を促進する。			
H27年度 取り組み実績	①ふじよしだ定住促進センター運営業務委託 市民財団事務所にふじよしだ定住促進センターを設置し、移住希望者の相談業務、空き家・空き店舗バンク運営業務、ポータルサイトによる情報発信業務、イベント実施業務を実施。			
H28年度 取り組み実績	①ふじよしだ定住促進センター運営業務委託 市民財団事務所にふじよしだ定住促進センターを設置し、移住希望者の相談業務、空き家・空き店舗バンク運営業務、ポータルサイトによる情報発信業務、イベント実施業務を実施。			
H29年度 取り組み実績	①ふじよしだ定住促進センター運営業務委託 市民財団事務所にふじよしだ定住促進センターを設置し、移住希望者の相談業務、空き家・空き店舗バンク運営業務、ポータルサイトによる情報発信業務、イベント実施業務を実施。			
地方創生交付金名/交付額				
重要業績評価指標 (KPI) ⇒H31目標値	定住促進センター及びポータルサイトの開設 ⇒平成27年度	ポータルサイトの年間ページビュー ⇒1万件/年	定住促進センターを通じた移住者数 ⇒10人/年	
H27年度 実績 (KPI)	開設	20,000件	18人/年	
H28年度 実績 (KPI)	開設済み	58,075件	9人/年	
H29年度 実績 (KPI)	開設済み	54,592件	14人/年	
評価 (効果)	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価 (今後)	空き家・空き店舗バンクの登録物件数、成約件数に一定の成果が出ている。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	まちづくり戦略課			

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策4. 移住・定住の促進			
具体的な施策	施策④ 定住促進を目的とした優良宅地の開発と販売			
事業の名称	定住促進宅地整備事業			
事業概要	地理的要件の高い未利用市有地を優良宅地として開発、販売し、定住促進奨励金制度の活用と併せ、市内への移住・定住を促進する。			
H27年度 取り組み実績	①定住促進宅地の調査・検討 ②(仮)定住促進宅地販売促進補助制度(定住促進奨励金の改定)の検討			
H28年度 取り組み実績	西丸尾団地跡地を定住促進宅地として販売するため、宅地造成に係る設計及び開発申請を実施。			
H29年度 取り組み実績	①(仮称)西丸尾優良宅地造成工事 ②(仮称)西丸尾優良宅地造成に伴う下水道工事 ③(仮称)西丸尾優良宅地内水道布設工事 ④(仮称)西丸尾優良宅地造成工事(第Ⅱ期) ⑤(仮称)西丸尾優良宅地造成事業宅地開発に伴う用地確定測量外業務委託 ⑥西丸尾定住促進宅地内桜剪定作業業務委託 若者が安心して生活できる住宅環境の確保を支援することで、本市への定住を促進し、活力ある地域づくりの推進を図るため、西丸尾団地跡地に宅地造成を実施し、住宅を建築する方向けに分譲を行った。(10区画)			
地方創生交付金名/交付額				
重要業績評価指標 (KPI) ⇒H31目標値	優良宅地販売数 ⇒10件			
H27年度 実績 (KPI)	-			
H28年度 実績 (KPI)	実施設計			
H29年度 実績 (KPI)	工事・販売			
評価 (効果)	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価 (今後)	定住促進を図る中、全区画を完売し、申込の倍率も高いなど有効な事業であった。今後も同様の事業を実施できないか検討していただきたい。			
備考	まちづくり戦略課			

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策2. 観光・地域資源の活用強化と新たな産業の創出			
具体的な施策	施策③ 新たな観光資源を活用した観光施策の推進			
事業の名称	多業種企業との官民連携による観光イノベーション戦略プロジェクト事業			
事業概要	<p>富士山と富士五湖がもたらす雄大な大自然に抱かれた富士北麓地域は、首都圏から約2時間というアクセスに恵まれ、日帰り可能なリゾート地として年間1386万人（H26年：観光入込客数）もの観光客が訪れるエリアである。この地域では、インバウンド旅行者も年々増加し、富士吉田市でも日本の象徴の富士山や富士急ハイランド、また道の駅等の大型施設にも恵まれ、山梨県内では、トップの入込数を出している。しかし、いざ市内に目を向けると、来訪客は特定のエリアに一極集中してしまい、市内各所が賑いを見せるまでには至っていない。この数年「中心市街地活性化」の取り組みも一定の成果が出てきているが、まだまだ市内の来訪客が増えていけるまでの素材にはなっていない。また本市初めての入り込み施策として「新倉山浅間公園」（忠霊塔）桜開花時期でのイベントの開催を計画しているが、単なるイベント開催に終わらず、マーケティングを行う必要がある。また市内には様々な地域資源を有していますが「グリーンツーリズム」や「観光事業者」との連携も具体的な取り組みができていない。これらの背景を解決していくためには、地域を上げて取り組まなければ活性化にはつながらないと考えている。</p> <p>そのために多業種企業との官民連携による観光イノベーション戦略プロジェクトとして、事業を推進していく。</p>			
H27年度 取り組み実績	-			
H28年度 取り組み実績	<p>(1) マーケティング調査事業 イ) ビックデータ活用による来訪者動態実態把握調査 ロ) インターネットモニター活用によるマーケティング調査 ハ) 訪日外国人導線レポート調査 ニ) 観光イベントを活用した来訪者聞き取り調査</p> <p>(2) 観光イノベーション戦略の策定準備事業 イ) エコツーリズムイノベーター養成（人材育成）</p>			
H29年度 取り組み実績	<p>(1) H28年度に行ったマーケティング調査事業の結果を踏まえ、『観光基本計画を策定』する。 (2) 着地型観光事業 （新倉山浅間公園桜まつり事業、ハタオリマチフェスティバル事業）</p>			
地方創生交付金名/交付額				
重要業績評価指標（KPI） ⇒H31目標値	観光入込客 479万人 ⇒30%増加	観光消費額 411億円 ⇒30%増加		
H27年度 実績（KPI）	502万人（5%増加）	450億円（9%増加）		
H28年度 実績（KPI）	517万人（8%増加）	493億円（20%増加）		
H29年度 実績（KPI）	508万人（6%増加）	478億円（16%増加）		
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価（今後）	桜まつりやハタオリマチフェスティバルなど魅力的なイベントも定着してきている。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	富士山課 商工振興課			